

35日

北

四 二六

受信 二二三二二
譯始 二二三二五

譯了 二七〇一三〇
電 一四二七四
作 概

昭和廿九年四月廿七日



第三南遣艦隊戰闘概報着信艦所

機密 第二四〇〇〇七番電

一、連日ノ砲爆撃ニ依リ各地區ノ陣地殆ド一草一木ヲ止メヌ坊主山トテ

ルモ我未ダ概ネ第一線陣地ヲ確保シアリ

二、二二・三日ノ戰果殺傷一五〇名（内士官一死體確認）自動砲同彈藥

多數鹵獲被害戰死二五戰傷一九彈藥庫一防空壕二倒壞本日迄ノ死傷

第一戰闘員二五%自動火器並ニ重火器ノ消耗三五%同彈藥消耗五〇

%

三、敵ハ鐵道修理本日貨車八輛ヲ「カソリンカー」様ノモノニテ牽引シ

ナガ「方面ヨリレガスピニ向ヘリ。

確

通 一六二八七 於 一三一五〇八五 KC 高航基地 山本（福田）

昭和廿年四月廿六日

四 二二五 受信 〇三二五〇 譯丁 〇四〇〇 電一三八八一 作 概

緊急



機密第二四〇九五一番電

- 三二 警備部隊 戦艦報着第十四號 (四月二十四日其ノ一)
- 一 「ハワメタナガ」 方面飛行偵察報告「二十四日朝」
- 二 「ホロツタ」 灣巡洋艦二隻 輸送艦二隻 大型輸送船七 油槽船二
- 三 「マラバン」 沖 輸送船ラシキモノ一
- 四 ハワメタナガ附近上陸用舟艇三五 魚雷艇一隻 L E T ラシキモノ一
- 五 ハワメタナガ東七軒上陸用舟艇一〇 東進中二 西進中
- 六 通一五六八七 白一ブラー八(一五七一〇KC) 三二通 (一)

金子(細川)

五ハワメタナオ謝岸上陸用舟艇五北風中六「ツンハル」ハハリメタ
 ナオニ一〇度二〇料（附近上陸用舟艇六東進中
 キ「ビキツト・バカルヘナン」「カバカン」方面「ミスト」ノ爲狀
 況不明

四 二六 受信二二五五 譯了二三一〇 電一四二四七
譯始二二三〇

參作
本概〇

昭和廿年四月廿七日

緊急



● 一 一 根
● 三二、三三各根、南非空

● 三 一 通

機密第二四一〇三七番電

發 南西方面艦隊參謀長

宛 威總參謀長

31 威參一電第五二〇號關聯

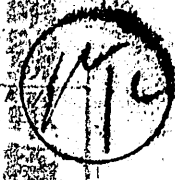
第三五軍司令官ノミンダオ才轉進ニ關シテハ從前ヨリ種々考慮(一符)
字受脱(一)「バコロド」方面飛行場使用不能並ニ潜水艦甲標的モナキ爲
行惱ノ狀況ニテ殘ハ民船ノ利用及水上機ニ依ル外ナク民船利用ニ關シ
テハ考慮スルモ水上機ニ關シテハ斷念等ヲシテタバオ經由實施ノコト
ニ取計ハレ度。
通一六二〇九 呂一Bラ十八(五〇八五IC) 高空基地 半澤(森口)

3219

人

四 二五 受信 一三二五九 譯了 一四一五 電 一三五五三 作 概

緊急 三二根 戰團 概報 着信 艦所 三二 通 信 隊



機密 第二四二二五五番電

三二警備部隊 戰團 概報 第一四號 (四月二十四日) 其ノ二

一「コタバト」方面 當隊 機密 第二四〇九四五番電 通

二「サランガニ」方面 一九一五 戰艦 一隻 巡洋艦 三隻 驅逐艦 六隻 輸送船

一六隻 上陸用 舟艇 七隻 「バルート」島 日方 方位 二一五 度 距離 四〇 浬
南東ニ 向ケ 進行

三「ダバオ」方面 一〇一五△一二四 一七機 陣地 附近 投彈 一二二〇 小

型 飛行機 二機 「カリナン」 「ダリヤオン」 ニ一七〇〇 S B D I 一
六機 「マテナ」 銃爆 擊 戰果 擊墜 一 擊破 一 被害 ナシ 其ノ他 一 二四

通 一五三五二 呂 一 〇 八 (一五七一〇 KC) 三二通

坂 本 (久保田)

昭和二十一年四月廿六日

169T

一機B-125 二機通過

四「デゴス」方面〇ハ〇〇ヨリ一八一〇迄中型飛行機及小型飛行機

襲撃時ニ乃至十機上空「コタバト」街道及航空基地附近銃撃

戦果被害ナシ

昭和五年四月廿三日

35 kg



四 二六 受信二二二一
 譯始二二四八
 二二三三〇
 電一四二五九
 四二六〇九
 作 本
 參 本

昭和廿年四月廿七日

● 大海参一部・第三南遣艦隊戰艦着信航所

● 局・各人幕部（除高維、銀海）

● 機密第一二五一〇三七番電二分ノ二

通報 振武集團參謀長

一、敵ハ連日猛烈ナル砲撃ニ耐接執拗ナル膠着ノ誘導下漸次我方

復廓障地ニ迫リ來レリ我方方士氣極メテ旺盛ナルモ將兵漸ク疲勞

シ依然トシテ銃砲燃撃ニ依リ死傷者ヲ生ジツツアリ

二、敵上陸以來ノ綜合戰果人員殺傷二八五〇以上墜沈破題逐艦一隻掃

海艇一隻上陸用汽艇八隻爆破炎上ダグラス一機裝甲車三自動貨車

三九牽引車四欄坐輕戰車二鹵機カールピン銃五五銃輕機二四音波探

知器二其ノ他彈藥糧食多量爆破炎上物資集積所一四燃彈庫九機銃

通一六二〇三・一六二六〇 オ十三（五〇八五）
（高き基地）

山本（餘）三

九陣地二破壞迫擊砲一重機四其ノ他多数

三、戦死准士官以上氏名左ノ通

(イ)海軍豫備(ヨテ)中尉岸上明(四月三日)兵曹長酒井信壽(四

日)機關兵長熊谷一元(六日)豫備(ヨセ)中尉上野武男(十

四日)整備兵曹長山田剛二(十八日)河信田兼雄(十九日)

(ロ)陸軍中尉小野イ夕郎(十八日)准尉伊藤富太郎(二十三日)

中尉田中好太郎(十五日)

昭和廿四年四月廿六日

四二五 受信二二五一 譯了〇二〇〇 電一三七八九 作 概

作戰緊急 譯始〇一一〇〇 電一三七九〇

根

三一通五分遣隊



機密第二五一六四五番電 二分ノ二

威 威總參謀長

宛 尙武參謀長、通報 渡邊參謀 (通報先) 威 (和知中將) 尙武

威 威電第四九一號 海參電第二四一號

「一ミンダナオ」島ノ敵ハ本格的作戰ヲ開始セラレ所在部隊ハ士氣

旺盛之ヲ認ミテ企圖

三十一日一六〇〇迄ノ戦況

(1) 「コタバト」附近ニ上陸シテ戦況ニ關シテハ未ダ

詳報ヲ得ザルモ約兵團ノ西地區隊 (獨立歩兵第一六六大隊)

通一五六三五
通一五六七七

呂一〇七七 (六二三五) 十通

藤生 (杉本) (-)

ハ「サルナヤン」コタバト「東方三〇軒地區ニ南地區隊（歩
 兵第七四聯隊一大隊砲兵二中隊及歩兵第四聯隊（一語不明）營
 戒隊主力輜重ノ一部）ハ「ドラン」カバカン」地區ニアリ
 (2) 本日〇六三〇「サラノガニ」南方海上ニ一船團アリ「コタバタ」
 方面ト策應先ツ「デゴス」ダバオ」地區攻略ヲ企圖シアル算
 大ナリ

三、尙集團長ハ「セア」島ヨリ近ク「ミンダナオ」島ニ轉進企圖シア
 ルモ通信杜絶シ目下狀況不明ナリ

作戰緊急

四 二二五 受信 〇〇三〇〇七 譯了 〇二一〇 電 一三三八七二 作 概

昭和十二年四月廿六日



● 南西方面艦隊 第三南遣艦隊 三三根
● 大海參一部・聯合艦隊

機密 第二五一九五〇番電 二分ノ二

三三聯戰團機報第一三號（四月二十五日）

一、山嶽ノ原始林ヲ行軍スルコト一ヶ月四月二十三日開墾地（地名不明）

ニ達シ陸海軍共ニ正糧食盡キタルモ此處ニテ約一週間ノ農作物ヲ獲得セリ陸軍部隊ハ我方北方ニテ別動セリ

三、今次ハ地圖又ハ參考資料皆無ノ裡ニ行ハレ難多ノ困難ニ遭遇殊ニ糧

食ハ二週間定量ノ三分ノ一二テ凌ギシモ常ニ土氣旺盛ニシテ得タル

戰訓抄シトセズ

通頭 一五六六八七三

馬一〇ラ十八（七八五五）三二箱 小森（木下）

三、敵トハ屢交戦之ヲ擊退二十四日以來執拗ナル銃爆撃ヲ受ケシモ十三
 耗機銃ヲ以テ其ノ一機ヲ確實ニ撃墜セリ

四、本戦團中陸軍兵ガ隊伍ヲ以テ計畫的ニ海軍工員ノ運搬セル糧食ハ數
 回私有品（十數回）ヲ強奪セル事件ヲ出セルハ遺憾ナリ。

（東通注 本電誤字多シ）

32A

人

四 二六 緊急
 受信一〇八五九 譯了二一五二 電一三九五六 航作機本〇



三二根 戰鬥概報着信艦所
 二二、二三、二六各根
 機密第二五二〇一八番電

三二KB 戰鬥概報第十五號 (四月二十五日)
 「ダバオ」方面〇八三〇P一三八 一機北一北東〇九四五一〇九五三
 「B D」二機南西ヨリ侵入「サンタクロイズ」銃爆撃北方ニ脱去一一〇
 六一一一二七s B D 四機南西ヨリ侵入「サンタクロイズ」銃爆撃北方
 二脱去一一二〇B一三四 一機南下一二〇〇一七二〇s B D 四機
 南西ヨリ侵入「デゴス」一機南下一二〇〇一七二〇s B D 四機
 「マール」島東海岸「タホコヒン」一機南下一二〇〇一七二〇s B D 四機
 立二「リヤオン」飛行場銃爆撃後北方ニ去ル戦果ヲシ被害調査中
 通一五八七〇 呂一Bラ十八 (一五七一〇K) 三二通

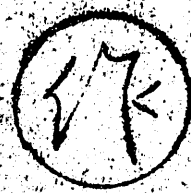
中村 (渡瀬)

五五五二八三七八二五K (五PGB) 倉 (高)

作戰特別緊急

四二六 受信〇〇五五〇二 丁〇八〇〇 電一三八八四 作

昭和十四年四月廿六日



五基地航空部隊戦闘機報告信機所・五三航空部隊

三二根下・ワシシレイ航空基地

ダバオ第一航空基地

機密第二五二二二六番電

通報 十三地區隊司令部

「コタバト」街道偵察速報 (四月二十五日一八三〇)

一敵ノ先頭ハ車輛一五輛ヲ以テ既ニ「キダバワン」ニ達シ東進中

二「キダバワン」一「デゴス」中間敵味方不明トラツク一二輛點燈西行中

三「カバカン」一「キダバワン」間トラツク二六輛東進中

四「ヒキト」一「カバカン」間装甲車一輛トラツク五輛東進中

五「ヒキト」附近トラツク八五輛渡船ニテ渡河終了セルモノトラツク一四輛

附近ニ自動車用渡船七隻上陸用舟艇三隻

六「カバカン」以北ノバレンシヤ街道ハ橋梁破壊セラレタル儘ニシテ敵北上

ノ氣配ヲ認メズ

地一五八〇七 呂ニブラ一八(三七八二五KC)五PGB放 新倉(高橋)

今

四二六 緊急

受信一三四八
始一三一八

譯了一四〇〇 電一四〇七七

航作概本〇

● ダバオ第一航空基地



◎ ◎

三 ?

二 根

△

機密第二五二三四二番電

發 南非空司令

宛 一三航空艦隊參謀長

貴機密第二四一二三一番電關聯

本二十五日敵ノ先頭ハ「デゴス」ノ西約三〇浬ニ迫レリ「デゴス」
飛行場使用不能今ノ所第一基地カ若ハ第二ナラバ夜間發着可能ト認
ム

通 一五九七五

呂一Bラ十八(一五七一〇RC)三二通

長谷川(渡瀬)

昭和四年四月廿七日

昭和廿年四月廿七日

四 二六 受信一一一五〇〇 譯了二三二〇 電一四一〇五 作 概

作戰緊急 三 五 警



第三南遣艦隊戰鬥概報着信艦所

機密第二五二三三五五番電

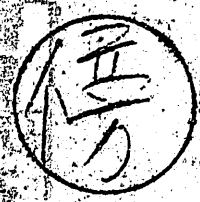
一 敵ハ全面的ニ極メテ活潑ナル攻勢ニ出テ領線ニ道路ヲ造リ戰車ヲ押
進メ來レリ我ガ方此レガ爲第一線陣地ノ一部後退ノ止ムナキニ至リ
戰線短縮整頓シアリ彈藥亦漸ク缺乏
二 本日ノ戰果人員殺傷約六〇〇人 銃三挺自動小銃一挺同彈藥多數
獲被害戰死傷者一三名及倉庫一棟破壊

通一六〇八六 於十三(一〇一七〇K) 高空基地 望月(森田)

八

四 二七 受信二二二八 譯了二三四〇 電自一四七三六 作 概
至一四七二八

緊急 通信隊



機密第二六一九三三電三分ノ一、二三三

發 第三十二特別根據地隊司令官

宛 第三南遣艦隊參謀長

貴機密等一三一〇〇九番電返

一、海軍復廓陸地地區ハ「ダバオ」市ノ北方約一四軒ノ地點ニテ「ダバオ

」河左岸「防波堤ドツク」ニ海軍司令部ヲ置キ昨年十月下旬着各司令

部施設概ネ完成但シ受信設備施設ヲ別ノ横穴ニ着工シ完成ニ約一ヶ月

ヲ要スル見込ナリ

通 一六二四八・一六二四五 呂一Bラ十八(七八五五KG)廿二通

(1)

野木・田中・川本(小林)

昭和廿年四月廿八日

- 三、組織陸軍復廊ト同一ナル「防波堤ドツク」ヲ基點トシ橋ネ「防波堤ドツク」ノ（以下同斷）北西六籽（カリヤワ）東方二籽（奥ノ森）南方
- 四、五籽（嵐山）西方六籽（テリビヤオ）ノ國內トシ兵團司令部ハ「防波堤ドツク」ノ對岸作戰部隊ノ所ノ地點「ラブイ」ニアリ（現在地附波堤ドツク南西約一三籽「ミシタル」
- 三、海軍復廊障地内部隊ハ海軍司令部第三十二通信隊本部南菲空本部ニシテ警備兵力ハ司令部大隊（二ヶ中隊）獨立大隊（二ヶ中隊南菲空）ナリ大部分ハ復廊地内ニテモ主トシテ「ダバオ」河左岸地區ニ配シ沿岸封鎖復廊地ニハ主ナル海軍各部隊各應本部ヲ直屬ス
- 四、復廊障地内各隊ノ糧食保有量ハ海ネ二ヶ月分ニシテ豫備糧食一〇〇〇人一日四〇〇グラムトス三ヶ月分ハ障内製産ヲ獎勵スルト共ニ復廊地境内ニ糧食ヲ運搬蓄積下方通信用資源保有量四ヶ月分擔シ椰子油製造ニ依リ更ニ五ヶ月分準備中火藥資源ハ逐次復廊地境内ニ運搬中
- 五、通信ノ長期確保上別ニ南菲空ノ通信裝置トシテ短移動空三號及二號各二臺ヲ「タモガン」（「マンドツク」北西二〇籽）溪谷中ニ裝備セリ

35月

四 二七

受信 〇〇一五 譯了 〇一四五 電 一四二八一 概 〇

作戰特別緊急

三 五 警



第三南遣艦隊戰鬥概報着信艦所

機密 第二六二三一五番電

一、本日ノ戰果人員殺傷二〇〇以上彈藥糧食多數鹵獲被害戰死傷約四〇

二、情況ニ即應殘員ヲ率キ突擊敢行セントス

皇國ノ必勝ト隆昌ヲ祈ル。

通 一六三〇一 於 一三 (五〇八五 KC) 高雄空基地 山 本 (吉・田)

昭和廿六年四月廿七日

人

四 二二七 受信 〇〇〇六

了 〇二〇七 電一四七五四 概

緊急

三二根 戰闘機報着信 蓋所

二二根 一三根 一六根

機密第二七〇三四八番電

三二五 戰闘機報第十八號 (四月二十六日其ノ二)

一 補給基地航空兵力ゴスニヘキタバソ方面當隊機密第二六〇九一四番電通

二 「タバオ」方面 一〇〇五一一九〇〇 〇〇 〇一八機 小型機七機 機種不明

八機 B-1三八 機來襲 B-1二四 五機 B-1三二 四機 B-1二六 A-1

機

三 戰果ナシ 被害「タバオ」市役所直撃 火災教會及タリヤオン附近小砲火

通一六七八九 呂一五ラ十八 (七八五五BC) 三二通 甲田 (川口)

昭和廿年四月廿八日

一 炎ハナカンロオ附近ニ箇所ノ炎上一六二三敵魚雷艇四隻「サラシカ
 ニ」海峽東進「ダバオ」灣ニ侵入内ニ隻々南方ニ去ル
 二〇一五南比空零戦一機「マリアナ」ノ一〇度一〇〇軒ニテ魚雷艇
 二隻発見爆撃一隻炎上一隻小破ス
 四「サラシカニ」方面〇七一五小型機二機一六三〇B一三五 二機偵察。

四二七 緊急

受信二〇五〇
譯始二一〇〇

譯了二三〇〇 電一四八七四

昭和廿年四月廿八日
作概

五基地航空部隊戦闘概報着信處所



ワシ 部隊 謀 長

秘第 二七〇七二三番 二分

H三A B 戦闘概報 (四月二十六日)

一、一五零戦一機「デゴス」西方敵軍輸部隊攻撃速報通

二、一六二〇タバオ灣沿岸各見張所より敵魚雷艇二隊(一隊四隻)灣内へ侵入シツツアトトノ報ニ基キ等戦一機(山本一等飛行兵曹)第一回一九三〇發進「デゴス」南方「マリシ」東方ニ敵魚雷艇二隻北上中ヲ發見燬撃直撃ニ依リ一隻炎上墜沈他ノ一隻ハ南方ニ遁走セリ。

「電信課註」本電二分ノ二未着

通一六七一五 呂二日ラー八(七五六五) 五FGB放

東野(小)機

↑

四 二七 受信二一三〇〇 譯始二二〇〇〇 譯了〇七五〇 電一五〇八三 作 概

緊急

五基地航空部隊戰鬥概報着信艦所

ワシ部隊

機密第二七〇七二三番電 二分ノ二

(作)

三 第二回(砲撃ナシ)二二四五夕ヨツト島西岸ヲ砲撃中ノ敵魚雷艇二隻ヲ発見爆撃至近彈ニ依リ二隻撃破 其ノ後ノ動靜不明 着陸時發動

機 障ノ爲海上ニ不時着 機体大破搭乗員輕傷

四 一〇五〇ヨリ二〇〇〇迄小型機延一九大型機三九來襲 主トシテ「カ

リナン」及「タリヤン」附近銃爆撃

五 灣内深ク魚雷艇ノ侵入セシハ今回ガ始メナリ タヨクツト島ニ對ス

ル砲撃ハ同島防備ニ對スル探索ニシテ敵攻略部隊ノ侵入近クニアリト

認ム

六 實動零戦一機 (電信譯註 本電二分ノ一既配布) (東通註 本電誤字多ク遲延)

通一六七四七 呂二Bラ十八(七五六五)五FGB放 半澤(山中)

昭和廿年四月十九日



四 二七 受信〇〇一〇〇五 譯了〇六一〇 電一四八五七 作 概〇
 緊急 譯始〇〇四〇〇五 譯了〇六一〇 電一四八五七 作 概〇
 三 二 通



三 一 通 五分 遣 隊
 東 通 ・ 聯 合 艦 隊 口

機密第二七一五一六番電

發 三十二特根司令官

宛 三K F司令長官

通報 兩西方面艦隊司令長官 大海參一郎長

一、コタバト方面ノ敵情ハ既報通敵攻路部隊ハ第一次四月二十日一

ボロツク一灣一コタバト一二〇軒ニ在泊上陸中ヲ發見ハ飛行機偵

察ハ第二次同二十二日ハ推定ハ上陸兵力ハバチタンニ向ヘル情況

ヨリ見テ約一個師團ト判定

通一六八四七 呂一Bラ十八一七八五新K 三二道野木(新井) (一)

昭和廿年四月廿八日

三本月中旬以降「タバオ」地區ニ對スル敵機ノ爆撃情況等ニ鑑ミ敵ハ
 「ミンダナオ」島ノ本格的攻略ヲ企圖攻撃主目標ヲ「タバオ」ニ置キ
 先ツ背面ヨリ牽制攻撃主力ハ機ヲ見テ海正面ヨリ侵攻ヲ企圖シアルモ
 ノト認ム
 三、當隊機密第二三二二三二八番電二分ノ一作成替
 敵ノ「コタバト」街道侵攻ニ備ヘ在「テゴス」陸軍部隊ハ歩兵一箇
 大隊ノ一部ハ「カバカン」ニ進出一部ハ「ヨツンテ」ハ「テゴス」
 西方一〇料ノ要地ニ配備中。

緊急

四二七

受信二二一五二
譯始二二一五二

譯了二三一五 電一四八七二

航作概本 ○

昭和廿年四月廿八日



- 三二根カリヤン見張所。三南遣艦隊バルト島見張所
- 三南遣艦隊サンアグスチン島見張所
- 三一通五分遣隊

機密第二七一六二五番電 其ノ二

三當方面戰機迫り敵艦隊ノ機迫ラントス各見張所ハ第二警戒配備トナシ依然
 現任務續行愈士氣ヲ旺盛ニシ飽迄長期通信ノ確保ニ努メ重要敵情ノ速報ニ
 努ムルト共ニ對敵警戒配備ト爲シ見張所トシテ最後迄任務完遂ニ邁進スベシ
 三使用暗號書以外ノ機密圖書ハ所長左記ニ依リ便宜焼却方遺憾ナキヲ期スベシ
 三電信課註 本電其ノ一未着

通一六七六二

天日(一七八五五)三二通

林(島田)

人

昭和廿年四月廿八日

四二七 受信二二五〇〇 譯丁二四〇〇 電一四七四二 作紙〇

緊急



三三根カリヤン見張所。三南遣艦隊サンアタステン島見張所
三南遣艦隊バルト島見張所

三一 通五分遣隊

機密第二七一六二五番電

發 第三二警備部隊指揮官

宛 各見張所長

通報 三R P 參謀長

機密第三十二警備部隊電令作第三四四號

「コタバト」上陸敵先遣部隊ハ「デゴス」西方地區ニ達シ一部

ハ既ニ戰鬥ヲ交ヘ又一九三〇敵魚雷艇四隻水燈一「メバオ」灣

ニ潛入敵ヲ航空部隊ハ機先ヲ制シ敵魚雷艇一隻ヲ擊沈一雙ニ至

近襲ヲ與ヘタリ。

通一六七五五 天一Bラ一(七八五五)三二通 奥山(小津)

四二七

受信開始 〇〇一〇三四

了〇二二二

第一四七八三

作概

昭和廿年四月廿八日

作戰緊急



三五警備隊

大臣・聯合艦隊口・菲島部隊（各指揮官）

機密第二七一七三三番電

發 G K F 長官

局長	子勇	山	赤	井

海軍防衛部隊が第三十五警備隊司令卓越セル統率部隊ノ下棲
 ナル情況ヲ克服シ強果敢ナル猛反撃ヲ反覆多大ノ戰果ヲ收メツ
 アルハ帝國海軍ノ眞價ヲ發揚セルモノトユウベク本職ノ感激オク能
 ハザル處ナリ戰況ハ更ニ奇烈ヲ加フ時彼玉碎ヲ急グコトナク飽迄
 強ナル作戰ヲ實施センコトヲ切望スマニラ東方山地ニハ陸海軍部隊
 ナリ情況之ヲ許セバ最寄リノ陸軍部隊ニ合同遊撃ヲ實施シツツイ
 シンフアンターヨリ轉進スベシ
 於一三（五〇八五）一高空基地 清 水（小 幡）

四二八 受信 〇〇二二二
開始 〇四一八〇 丁〇五三〇 電一四八五〇 作 概

緊急



● 五基地航空部隊 戦國樞 警備所

● 高雄航空基地

● 夕八才第一航空基地

機密第二七二三三五番

三三A B 戦國樞 四月二十七日

一〇八一五 一六四五 小機二二機 三機 夕八才

リヤオ。附近及。第一飛行場。第二飛行場

爆撃飛行場 異状

三二七〇〇 現在 山分途 隊地 迫撃砲 敵門 有

一ヶ小隊 來攻 激戦中

一六八八四 馬二 一八七八五五 三二通 米光 (森田)

昭和廿年四月廿八日

四 二八 受信開始二一五三〇九 譯了二二二二〇 電一五二四三 作 概〇

作戰特別緊急

テゴス航空基地



第五基地航空部隊戰機着信所
夕才第一航空基地三二根

機密第二八一七〇一番電

發 テイゴス指揮官

二十七日一六〇〇迄ニテイゴス山第一線陣地ハ熾烈ナル砲爆撃ノ爲
最後ノ無線機同迄破壊セラレ接收ノ止ナキニ至リ本部ヲ主陣地ニ轉
進爾後作戰準備中。

昭和廿二年四月廿九日

通一七三四八 於一三(三七八二五)KC(五)PGB放 櫻井(吉田)

至急
四二九

受信開始
〇〇三〇三五

作

聯合艦隊
大海參一部・一航空艦隊
非島部隊各△

機密第二八二〇〇三番電

南西方面艦隊司令長官

「八平才」殘留部隊二十九日B〇基地ニ轉進完了。

局長	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一課長	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
A	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
B	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
C	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
D	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
E	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
F	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

昭和廿年四月卅拾日

通一七四六〇 呂一Bヲ十八(四七四二、五K) 本F尸 池阪(岩崎)



緊急

四二九

受信開始
〇三〇五〇

譯丁〇三四〇
電一五三六三
作機〇

● 夕バ才第一航空基地

● 日三空襲部隊

● 高雄航空基地

機密第二八二〇四〇番電

日三△B 信電令作第一四九號

明日午前敵攻路部隊夕バ才灣内侵入ノ算大ナリ各隊警戒ヲ嚴ニス
ス。

道一七四五二 呂一Bラ一八(七八五五)三二道 池阪(小澤)

昭和廿年四月廿九日

昭和廿年四月卅拾日

四 二九 受信 〇〇四二五 譯了 〇五四七 電一五三七八 航作 概本〇

緊急

三空襲部隊

高雄航空基地。三三根

機密第二八二〇五四番電

南三 A B 信電合作第一五〇號

零戦一機明日〇五〇〇發進左ニ依リタバオ灣口附近ノ哨戒實施スベシ

一。タバオ基點一五二度一二〇哩右折二四九度三〇哩右折三四五度一二〇哩

三敵機ノ制壓若ハ銃撃ノ爲タバオ地區飛行場着陸困難ナル場合ハ「バレンシヤ」基地ニ歸投スベシ。

通一七四八四 呂一Bラ十八一七八五五(三十二通)

裕岡(山中)

人

四 二九 受信〇〇一四〇〇 譯了〇三二〇 電一五三四一〇 作 概

緊急

三二根 敵艦着信艦所

二二根 〽。二三根 〽。九五三空

12

機密第二八二二三五番電二分ノ二

三二二 B 戰艦概報第二〇號 (四月二十八日)

一 カリアン 見張所ニ對シ一七四〇敵魚雷艇四隻ヲ以テ上陸所在海軍部

隊之ヲ邀撃中一八一〇通信杜絶

ニダバオ灣口方面敵魚雷艇一ノ二隻哨戒中

三 テゴス方面戰況 二十七日一六〇〇迄ニ「テゴス」山第一線陣地ハ徹

烈ナル砲撃ニ依リ被害大海軍側ノ判明セル戰果 二十七日^夜斬込隊ニ

依ルモノ將校以下三名射殺大型トラツク一破壊被害輕傷一陸軍側不

明二十八日二一〇〇敵海上部隊砲撃開始

通一七四二一。一七四二五 口一Bラ十八(七八五五配)三三一通

新倉、菅原 (餘三)

昭和十年四月廿拾日

四ダバオ方面〇カ〇五SBD一八
 ラサン河口銃撃一〇四U二機SBD六E方面投弾
 一四四〇ラサン方面B一二五 一機サントナ棧橋「タロモ」「ダリ
 ヤオン」飛行場及附近第二飛行場銃撃一七一〇SBD七タブリ附
 近投弾被害第二飛行場滑走路被弾六其ノ他被害ナシ
 五マナイ見張所二十七日夕ラゴナハマナイ南西二〇軒ニ到着。

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

昭和四年四月卅拾日

四二九

受信〇〇五四〇六〇

譯了〇六五五 電一五三九三

社作概本〇

緊急

作

五基航空部隊戰報概報着信處所

ダバオ第一航空基地

機密第二八二二二〇番

三月三日戰報概報(四月二十八日)

一 二十七日二三三〇首隊暗偵機隊エントリクツト島附近出現
魚雷艇四隻ニ對シ距離二五〇〇米ニアリ備 (六番) 發射ト
ニ反轉南方ニ遁走セリ

二 〇八五〇一一九三〇 S B D 証九一機 P R O L 一証二機 P I 三八
一機 一五、一機來機各種銃爆空險關係被堂

三 二基機海走被破七發中修理完了ノ豫定
全機大型自衛重一小破。トラツク一大破 兵全

通一七〇八八 民一八ラ一八(七八五五)三一通 山崎(渡田野)

四 一九

受信二二五三
開始二二四〇

譯了二三四五

電一五五三六

作 概〇

昭和四年四月卅拾日

作戰特別緊急

● 〆 才 第一 航空 基地



● 〆 才 第一、第二各航空基地

● 高雄航空基地。日三空襲部隊。

機密第二九〇八四四番電

二二八日一三〇〇敵戦車及車輛部隊ノ一部ハ「夕カブリ」灣ヲ通過北上

一八〇〇頃「アストリガ」附近迄進出セリトノ情報アリ

三各隊ハ警戒ヲ嚴シシ極力飛行機ノ修理促進ニ努ムルト共ニ一時移轉ノ

準備ヲナセ。

通一七六〇〇 呂一Bラ十八(一五一一〇)ノ三二通 渡邊(土谷)

四 二九

受信 一四〇五

譯了 一四二〇

電 一五五三五

作 概〇

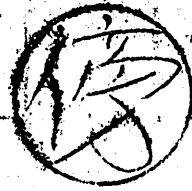
緊 急

● ダバオ第一航空基地

● デルモンテ航空基地

● H三空襲部隊・高雄、パレンシヤ各航空基地

機密 第二九一〇一五番電



宛 デルモンテ派遣隊長

デルモンテ基地撤收シパレンシヤ基地ニ合同セヨ。

通 一七六二八 呂 一 日 一 五 七 一 〇 KC (三二通 水谷 (雨 谷)

昭和廿年四月卅拾日

4

四 三〇 受信一八三八 了二一〇一 一六一一六 作 概
開始二〇〇六

緊急



五基地航空部隊戰國報着信體所

機密第二九二一五五番

五三 A B 戰國報 (四月二十九日)

一 早朝零戦ノ「夕バオ」灣哨戒遠報通リ着陸時脚折損(修理可能)

二 〇一〇〇一一九〇〇 S D D 延九二機 P I 三八 二機 P 四 U 一機 D H

二五 一機來襲各地餘爆彈一七四五ミリ二〇〇〇頃造敵機ノ制壓ヲ受

ケ航空隊關係被害第二基地兵舎一全焼一半焼戦死兵一名重傷下士官一

名兵四名輕傷兵二名

三 三ゴス地区二十七日夜二一三〇機ハ迷ニ飛行場ニ突入二八日早朝ヨリ滑

走路ノ修理ヲ開始同日夕刻迄ニ陸六〇〇米完成セルモノナシ

四 實動機ナシ 目下零戦二機極力修理中
通一八三四九 呂一〇〇十八(一五七一〇) 三二通 カ夕山(標海)

昭和廿年五月壹日

四 三〇 受信一八二五〇 譯了二一〇〇 電自一六一四六 作 概

緊急



● 一二根戰團概報着信艦所

● 一二二、二三、二六各根卜

機密第三〇〇九一五番電 三分ノ一、二三

三二五 戰團概報第二一號(四月二十九日)

テゴス方面戰況

(イ) 二十七日テゴス侵入敵ノ兵力野砲約八迫撃砲一〇數門ノ歩兵約五〇

○名 車輛約二三

(ロ) 二十七日夜敵ハ飛行場ニ侵入二十八日早朝ヨリ補修開始夕刻迄ニ約

二分ノ一完成セルモノノ如シ

(ハ) 二十九日〇九三〇アストル方附近ハ敵ハ本方三七軒ニ迫撃砲ヲ

通 一八八三三二五 呂一五七二〇 坂永(川口) 金

昭和廿年五月貳日

有スル敵一部侵入

(二) 戦果 (南菲空 二十七日) 人員殺傷二〇〇 物資満載貨車六輛大破

(三) 敵ハ迫撃砲ヲ以テ催涙彈ヲ風上ニ向ケ發砲ス

ニ、タバオ灣口附近ヨリ「ミアンガス」島迄飛行偵察 (二十九日〇六〇)

ノ結果敵艦船ヲ認ム 二十九日〇六五〇 沙子口浦魚雷艇四隻「バル」

ト一島見張所ヲ砲撃被害ナシ一六五〇魚雷艇一隻一八三〇魚雷艇三隻

タバオ灣口附近侵入哨戒

一、三、タバオ方面

(四) 連日ニ亘リ海上部隊基地ニ對スル敵ノ熾烈爆撃下極力海上兵力ノ維

持ニ努メツツアリ 第五攻撃隊 (デゴス魚雷艇身隊大發四隻指揮官

村生兵曹長)

(五) 二十八日二三〇〇タカブリ灣基地背後ニ敵車輛部隊迫レルモ極力隱

蔽ニ努メ沈着ニ基地施設ヲ處理シ夜隱ニ乘ジ進出基地ヲ「タバオ」

河及夕口モ河口ニ移轉セリ

(ロ) 二十九日各機橋ヲ破壊セリ

(ハ) 敵機來襲狀況稀 弧内ハ(通機機)〇七一五一一七二〇 B B D 一

一三〇) P I 三八(二) B I 二五(一) 主トシテ海岸及陣地ヲ銃

爆撃シニ一三〇一ニ四〇〇 B I 二五 三「サントナー」サウタリクド

島南端「サマル」島中央山地ニ照明弾投下サウタリクド島南部投

弾

Handwritten mark at the top of the page.

作 (Circled character)

五
 緊急
 受
 始
 四四五
 三
 四
 五
 丁一九〇五
 電四五〇一
 作

三二根 砲台 榴弾 着信 艦所

三三根 砲台 榴弾 着信 艦所

二六根 砲台 榴弾 着信 艦所

機 第三〇二三三五番 電

二分ノ一

以下三十語不明

(イ) 三十日一八〇〇迫撃砲ヲ有スル敵約三〇〇ハ「デゴス」街道ヨリ「タロモ」附近ニ侵入「ミンタル」山地方面砲撃開始所在海陸軍部隊ハ之ヲ邀撃タロモ十字路附近ニテ交戦中

(ロ) 二二〇〇第一警戒配備發令

(ハ) 〇〇四〇一三三三〇敵艇一〇四來襲海岸及主陣地銃爆撃

ニデゴス方面

(イ) コタバト街道ノ車輛往復日夜頻繁ニシテ二十八日敵ハ「バタ」方

通三四四 呂一〇ラ一八一七八七五〇三三二通 吉川一増田 (1)

昭和廿年五月拾壹日

面ニ集結中ナルモノノ如シテテニス

（電信課註 本電二分之二既配布）

（東 通註 本電不明箇所照會モ來ラズ配布ス）

二十

SECRET

329



緊急

五

一 受信 〇〇二二三〇六 譯了 〇九〇〇 電 〇〇六六〇 作 概

三

二

通

昭和廿一年五月五日

- 三二根 砲臺 報告 信 送 所
- 二二、二三、二六 各 根

機密 第三〇二三三五番 電 二分ノ二

三、戰訓

(イ) 敵ハ交通遮斷ノ爲カス 彈ヲ使用 爆發音小ニシテ 白色煙濃毒ガ スナリ 打上ニ依リ 五分間 持續

(ロ) 敵ハ要點高地ヲ攻撃セズ 時トシテ 森林ノミヲ通過 小規模ニ我 陣地ヲ包圍(山地正面ニ約一ヶ小隊現出セル時ハ左右ニハ數

個部隊包圍シアリ)

(ハ) 敵ハ我ガ切込ヲ恐レ 繩ヲ張り之ニ射レバ 照明彈ガ上ル如ク設 備シアリ。

東通 註 本電誤字多キ爲 遲延 八三 課註 呂一Bケ七ノ八〇八五 長谷川(小澤綾)

334

人

五 一 受信 二一〇五〇〇 譯了 二三一〇 電 〇〇五四六 作 概
緊急 譯始 二一三〇〇

三二通信隊

昭和廿年五月廿日



サランガニ空基地
東通・聯合艦隊口・三一通

機密第三〇二三五九番電

秘

發 三三警備部隊指揮官

宛 三二警備部隊

通報 G K P 司令長官 三 E P 司令長官 大海參一部長

驕敵ハ幾ニ背後ヨリ「デコス」ニ迫リ今又「タバオ」地區ニ現ハル仇
敵撃滅ノ神機目捷ニ迫リ本隊ハ陸軍部隊ト緊密ニ協同シ麾下海軍部隊ノ
全力擧ゲテ之ヲ撃滅セントス宜シク賊石ノ團結必勝ノ信念ヲ以テ日頃
練磨ノ神技ヲ遺憾ナク發揮シ我ガ一ハ克ク敵ノ一ヲ屠リ我ガ一人ハ

通五三六

呂一Dラ十八(七八七五K)三二通

新倉(島田)

ハ克ク敵ノ二〇人ヲ斃ス決意ヲ以テ醜敵撃滅ニ邁進スヘシ茲ニ米鬼
迎撃ニ當リ天情ヲ獲信シ奮ツテ仇敵ヲ撃滅本土決戦必勝ノ一擧ヲ
シメンコトヲ期ス。

